

なかつか 亮



所得税・介護保険料・国保料・後期高齢者医療保険料に続き

今度は住民税「天引き」

来年10月から65歳以上年金受給者を対象に



来年の10月の様子

第3回区議会定例会で濱野区長は、年金暮らしの高齢者への住民税「年金天引き」を提案。区議会の区民委員会審査を経て、22日本会議で採決が行われました。共産党は「納税者の意思や事情を無視し、本人の同意もなく天引きとは強制徴収。高齢者の生活を奪う天引きは止めるべき」と反対。しかし、自民、公明、民主、無所属、生活者ネットの賛成多数で成立しました。生活を奪う強制徴収とは許せません。みなさんはどう考えますか。

いつ、だれが決めたの

65歳以上の、年金暮らしの高齢者に対する住民税年金天引きは、いつ、だれが決めたのでしょうか。

始まりは今年4月国会で、自民、公明が賛成し成立させた税制改悪です。(共産党は反対、民主、社民などは審議拒否で欠席)

この法改正を受け、濱野区長は来年10月の実施に向けて、品川区議会に「住民税年金天引き」にむけたシステム改修費を盛り込んだ補正予算を提案。共産党のみの反対で可決、成立しました。

裏へ

次々と天引きとは…

今年10月といえば、「65歳以上は国保料を年金天引き」

「75歳以上は後期高齢者医療保険料を年金天引き」と年金天引きラッシュの月。街では「簡単に言えば、早く死ねと言いたいのか」「次々と天引きとは、これでは生活できない。消えた年金、消された年金は全然解決しないのに、取ることは、ぬかりなく取るとは納得いかん」そんな高齢者の声が上がっています。

この同じ月に、品川区議会では、来年10月からの65歳以上で課税されている公的年金受給者を対象にした、年金天引き導入が議論されたのです。

品川区の主張

区民委員会で、品川区は「高齢者が窓口に向き支払う手間が省ける」と納税者の利便向上を強調。しかし、利便というなら、希望者の「口

座振替」で事足りません。こうした説明は、高齢者を愚弄するものです。

区の試算では対象は区内約3万人。現在、何らかの理由で住民税を滞納している方は469人で、その内約9割は年収200万円以下の高齢者。強制的な天引きとは、分納などの相談の機会すら奪うものです。



理由も述べず丸ごと賛成

品川区の説明に対し、自民、民主、無所属クラブの区議は一言も質問することなく、また理由も語らず天引きに賛成しました。また公明党の区議は「また天引きかという事も、納税者の心の中では生じかねない。丁寧な説明をお願いします

たい」と主張し賛成しました。**やめるべき 日本共産党**

共産党は「いやもおうもな天引きし、納税方法の選択すらできない今回の措置は止めるべき。品川区は、区民の立場に立って天引きはやめるよう国に働きかけるべきだ」と反対しました。

国会では、世論の強い批判を受け、後期高齢者医療制度保険料の年金天引きについて、麻生総理は「高齢者の心情に

そぐわない」と、天引き以外の選択肢を広げざるを得ませんでした。また、歴代政府の怠慢により、国民が受け取るべき年金が減らされたい、消されたり。

私は、徴収側の都合だけで介護保険料、所得税、各保険料に続き、住民税も強制徴収とは許せません。共産党は引き続き、区民の暮らしを守るためにがんばります。

なかつか亮

品川区にあなのご意見・要望を

現在、品川区は今後10年の区政運営を定める長期基本計画を策定、計画案に対する住民意見を募集しています。応募方法は「10月1日付広報しながわ」を参照。駅前や地域センターでも配布しています。概要版でなく、全文をご覧になりたい方は、区ホームページ、または各地域センターへ。郵送希望は企画財政課Tel5742 - 6870まで。

締め切り迫る！

募集期間は11月10日までです。「区営住宅を作ってほしい」「29号線、31号線は廃止を」「特養ホームの増設を」など、あなたのご意見を品川区にお届け下さい